

市民會議  
參加者名簿

## A 市民のいのちと生活を守る分科会

大石 将之

岡田 哲子

柴田 麗子

ある意味でとても勉強になりました。私たち一人ひとりが納税者として、これからの稲城市を自分たちでつくっていくという権利意識を高めなければと思いました。私たちが望む稲城市にしていくためには、市長や市議を決める「選挙」がとても大切で、普段から、私たちが、政治を身近なところから話題にしていく事が必要だと思います。

城市 由佳理

市民会議に参加した人々から、行政に対する色々な希望が意見としてでました。後半は参加できませんでしたので、さまざまな意見を集約して、提言書と言うひとつの形になったことに感服しております。通常取り込むことの出来ない市民の声が盛り込まれた提言書になっていると思います。

都心から比較的近い、緑にあふれた町というのが「稲城」の特徴だとおもいます。今後は、”安心して働ける子育て支援サービスの強化”を期待します！！

この市民会議の存在は無作為抽選による手紙を機に知り、参加させていただきましたが、行政に参加するさまざまな人の存在を知ることが出来たことを嬉しく思っております。子供のためにも（？）、今後も、行政に関心を寄せていきたいと思えます。

前島 律子

宮川 宗之

「無作為抽出」で市民会議に参加しましたが日常的に市政に協力されている方々に出会い感心いたしました。終の住処、安心して暮らせる稲城を希望します。夢よりも現実、医療や福祉など基本サービス重視の意見を述べました。発言の機会に感謝しています。

宮 貴子

私が市民会議に参加したのは「子どもが認可保育園に入れたい！どうかしてほしい！！」という思いからでした。提言にあるように、子育て支援を充実し、「子育てするなら稲城」と言われるような市になることを期待します。

宮田 たか子

市民会議に参加させていただき、行政にふれることができました。

日頃、障害者と関わることが多いので、関係者の方々から参考意見を聞いたりしながら、色々な思いがこもった提言書となりました。

声を出さないと伝わらないこともあります。障害があっても豊かに暮らせる稲城市であることを望みます。

## B 地域コミュニティ分科会

### 栗野 友之

稲城市は事業の計画段階から市民参加で進める手法が定着しつつあり、情報公開とともに開かれた市政として歓迎すべきことであります。

第三次長期総合計画を策定したときに比べ高齢化、経済の後退が大きく変化した。また、いわゆるハコモノ関係は一定の成果を得、第四次計画はソフト関係が主力になるものと思います。三つのグループも全体的にそういう傾向でまとめてあるように思えます。しかし、「協働」についての食いつきが弱い。市と市民との協働は市政の大切な手段であり、市民参加で市政を進める具体的な実施計画につなげるためにも第三次計画より一歩突っ込んだ位置づけでありたい。次の審議会その他の議論の場で検討して欲しいと思います。

### 太田 満子

最初は、いろいろな思いをどのようにまとめるのかなと思いましたが、分科会になってから軌道にのってきたという感じでした。自分の地域だけでなく稲城市全体を良くする熱意が伝わり、20代から70代の世代が同じ机上で話し合えた事、そしておおいに賛成、もう少し詳しい説明をなど、沢山の意見が飛びかい夏から秋、冬、春へと季節の変化と共にの市民会議でした。

### 田崎 龍一

広い青空、ゆったりと流れる多摩川、そして緑。自然に恵まれた街、稲城。元気で安心できる成熟した暮らし方を次世代に受け継ぎたいと願うばかりです。

市民のチカラで日本一住みよい街を作り上げましょう！

### 鷹野 洋子

長期的視野で物事を考える事の苦手な私は、場違いな所に参加してしまっただと感じましたが、会議を重ねるうちに真剣に資料、データを作り提言をまとめる方々に刺激され、「スポーツ活動を通じて健康なまちづくり」を提言することができました。今後、私たちがまいた種（提言）がどんな花を咲かせていくのか、見守っていきたいと思います。

### 鶴谷 貢

まず、第一は私にとって稲城の実態を知るいい機会となったことです。実態を知るということは住民の要望と行政の対応がマッチしているかどうかを知るからです。第2は「よい稲城を」創るには市民と行政がお互いに聞く耳を持つことが何より大事だと思ったことです。いい知恵は、それぞれの役割を分担しあって協力し合うことで生まれるからです。そして第3は市民同士、市民と行政が顔を合わせ議論することによって信頼感が芽生えたということです。やる気・やりがいはお互いの信頼性から生まれるからです。とてもいい経験でした。

### 萩尾 浩臣

稲城市はみどりが美しい、私はみどりの中に住んでいる印象を持っています。この美しいみどりを含め、稲城市の未来を構成していくための課題は多々存在します。「より良い街へ」という夢、いち市民として実現されていく日々が楽しみです。

### 八木 貞勲

色々身近かの行政の一部を知る事が出来た。行政は個人個人は感知しない色々の事柄をよくやっている。極論言えば、一方通行で申請主義であり、市民（国民）が反応し行動しなければ、行政の恩恵を享受出来ないことを肝に銘じ、又行政側は、何事に就いても、貴方（市民）が申請しなければ、実現しない事を広報すべきと思われる。

### 横山 太郎

身近に感じていた稲城市の行政をいろんな断面において更に親近感をもって考えるようになりました。皆さんも是非、市の広報紙やホームページに目を通した上、いろんなイベント、ボランティアに参加してください。きつともっと稲城が好きになりますよ。

～稲城マニアより～

## C 自然とみどり分科会

### 加藤 晃生

本当の市民自治とは、市民が口だけでなく必要なお金も出し、なおかつ自分の手とアタマも動かすことだと思っています。これは障害児教育の実証研究や先住民運動の支援をしながら私が学んだことです。提言もそういう立場から書きました。歴史的に見ても、市民自治とは自腹を切る覚悟、自ら先頭に立って汗かき仕事をする覚悟を持つ人々によって切り開かれてきたものですから、私の立場は極めて伝統的なものだと思います

### 加藤 翔

私は、この市民会議で自分の住んでいる稲城市について、多くを学ぶことができました。また、過去の私自身の経験を客観的に振り返るいい機会ともなり、微力ながら参加させて頂き、とても感謝しております。ありがとうございました。

### 堀口 則之

今回の市民会議に参加して、稲城の状況や多くの方々の考え方、意思を聞き大変勉強になりました。

やはり、地方自治といいますか、「まちづくり」は市民が作り上げる、市民が参加するという意識が広がるのが重要なのだということを改めて実感しました。

### 道山 利雄

市民参画の求める社会は、開かれた場として広く意見が議論され、将来の稲城市政に反映されることであると考えます。南山東部地区区画事業の諸問題などは、果たして市の対応はこれでよいのか等、今回の市民会議への参加を通じ、一井の市民として考えることが多くありました。

皆さん、共にもっと市政を考えましょう。

### 三沢 英夫

これからの『河川のみどり』づくりは、地域の方々と行政が一丸となり協働して進めることがより望ましいことだと強く感じています。稲城市のシンボルでもあり、他市にも誇れる「水のみどり」の環境を皆さんと一緒に是非作って行きましょう。

### 和田 清

私は、市民会議による提言書作成の目的について、当初迷っていましたが、単なる「要望や提案」であってはなりません。提言書は、10年後を想定した「稲城のまちづくり」に最も大切で必要な“方策や構想”を示す、即ち「現在の問題点や課題を明らかにし、解決する方向性や手段等を明示すること」と考えました。

またこの市民会議の提言を契機に、今後市民の皆さんが何らかの形で長期総合計画の策定に参加し見守っていくことを期待しています。

新参者の私は、市民会議を通じて多くの方々を知ることができ、大変嬉しく思っています。